

事業報告書（地域づくり事業）

団体名 齋川まちづくり協議会

<p>事業実施団体名・代表者役職・氏名</p>	<p>齋川まちづくり協議会 会長 保科 惣一郎</p>
<p>取り組んだ地区計画 ※</p>	<p>1-① 2-① 3-① 4-② 5-① 5-② 5-③</p>
<p>事業内容</p>	<p>【齋川夏まつり】 齋川夏まつり実行委員会 ・新しい夏まつりのあり方を検討して実施</p> <p>【令和7年度 奥州白石齋川宿マップ『はじめまして、齋川と申します。』活用事業】 齋川楽しみ隊 ・会員のスキルを活用した事業 ・地域の『いいもの』掘り起こし事業</p> <p>【史跡活用環境整備事業】 豊かな齋川地区を創る会 ・空き家や空き地を有効活用し、地域の交流拠点を創る</p> <p>【齋川地区新春講演会】 齋川まちづくり協議会 ・講師を招いて地域づくりの学びの場</p>
<p>事業成果や効果</p>	<p>今年度は交付金を活用して、以下のような4つの事業を実施した</p> <p>【齋川夏まつり】では、昭和初期より続いてきた夏まつりを大幅にリニューアル。役員負担を大幅に減らしつつも、より多様な参加者に楽しんでもらえる、規模は小さくとも盛大な夏まつりとなった。</p> <p>【令和7年度 奥州白石齋川宿マップ『はじめまして、齋川と申します。』活用事業】では、例年好評を得ている「まち歩き」や「石碑調査」はクマの出没の影響で中止を余儀なくされたが事業の内容を変更して特別セミナーを開催し、会員以外にも広く学びの場を提供できた。また、缶バッジメーカーを使った事業では、キッズオリンピック（未就学児の運動会）において、親子でオリジナル缶バッジを作り、また、敬老会では対象者全員にメンバーが手作りした缶バッジを配布することで、缶バッジの認知度を高めた。</p>

【史跡活用環境整備事業】では、丸森町筆甫地区を視察しまちづくりの機運を醸成。昨年に引き続き、検断屋敷の有効活用に向けて、表門の瓦の葺き替えや、土塀・井戸の改修を実施し、また花畑や草刈り作業なども行い、前庭を安心して使えるようになり、9月には「月明りの夕べ」と題して、地域住民との交流の場を持つことができ、地域住民が歴史的建造物に親しみ、活用の可能性を共有する貴重な機会となった。

【斎川地区新春講演会】では、地域づくり計画の期間満了を見据え、現計画の取組みに不足している部分について、講師を招いて学ぶことで、参加者に強い気づきを与えた。自地域でも取り入れられる取組みや協働の可能性を見出す機会となった。

以上の事業を通して、多世代間や地域内外の方々の交流がこれまで以上に図られたとともに、地域内の課題に対してもワガゴト化して、前向きにとらえ対応する姿が見えてきている。また、地区計画に明記している「具体的な取組みの方向性」が事業実施年度通りに推進され、「絆とつながりをさらに強め、持続可能なまち「斎川」を育む」の実現に近づいている。

※各地区の地区計画から実現したい宣言の記号を記入してください。

## 収 支 決 算 書（地域づくり事業）

団体名 齋川まちづくり協議会

## 1 収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
人と地域が輝く未来共創交付金	740,000	740,000	
会費	0	27,000	豊かな齋川地区を創る会 (27,000円)
地区協力金	0	146,500	齋川夏まつり実行委員会 (146,500円)
構成団体負担金	0	70,000	齋川夏まつり実行委員会 (70,000円)
一般協賛金	0	513,000	齋川夏まつり実行委員会 (513,000円)
助成金	0	139,684	齋川夏まつり実行委員会 (139,684円)
雑収入	0	16,000	齋川夏まつり実行委員会 (16,000円)
計	740,000	1,652,184	

## 2 支出の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	うち交付金対象額
事業に係る経費	592,000	1,628,532	716,348
交付金交付事務に係る経費	148,000	23,652	23,652
(消耗品代費)		(22,112)	(22,112)
(振込手数料)		(1,540)	(1,540)
計	740,000	1,652,184	740,000

※支出を証する書類（各事業の収支決算書の写し等）を添付すること。